

日本ライオンズ大学校（J L U）

設立趣意書

ライオンズは約1世紀余りにわたり、世界中で直面する多くの課題に取り組んできました。そして、今、私たちの地域社会は大きな困難の中にあり、ライオンズ活動も大きく変革しようとしています。このような厳しい環境の時こそ優秀なリーダーシップが大切です。そして、たくさんの素晴らしいライオンズリーダーが各地で活躍していくために、指導力育成がますます重要になっています。

有能なリーダーを育てるためにライオンズクラブは、ライオンズ公認講師プログラム（LCIP）、講師育成研究会（FDI）、上級ライオンズリーダーシップ研究会（ALLI）等、各種プログラムを用意し、多くのリーダーを輩出してまいりました。しかしながら、それらの修了者が地区やクラブに認知されず活躍の場が少なかったり、研修会の講師が経験に基づく内容で最新の情報から離れていて効果的でなかったりしている現状があります。また、日本の約3000のクラブには、様々な業種で成功し、ライオンズ以外の分野で大活躍している優秀なメンバーが多数所属しています。仕事や趣味等で有益で高度な知識や経験、スキルを持っていらっしゃるメンバーも、ライオンズの各研修プログラムの修了者とともに、ライオンズクラブの大きな財産です。

このようことから、あらゆるレベルの研修を、日本の全ての複合地区や準地区、クラブに提供し、メンバーの資質の向上とクラブの活性化を目指して、日本ライオンズ大学校（J L U）の設立を發起いたします。各種ライオンズ研修プログラム修了者の情報や、特別講師としてライオンズ以外の専門分野において卓越した知見を持つメンバーの情報をとりまとめ、その中から講師を紹介することで、複合地区や準地区、クラブが開催する研修会やセミナーを支援してまいります。また、国際協会の最新情報を講師で共有し各種研修の最新プログラムを確認したり、日本の状況に合わせたカリキュラムを開発して、全国共通の学習レベルを提供できるようにすることによって、講師のレベルの維持、向上と研修内容の充実、各地区のメンバーの資質の一定のレベルアップに貢献できます。

日本ライオンズ大学校（J L U）のサポートは、ライオンズのすべての研修の質を向上させ、メンバーの意識を高め、クラブや地区の活性化が期待されます。それは、指導力育成のみならず会員増強にも繋がり、ライオンズクラブ全体の発展に大きく寄与することは間違いありません。そして、ライオンズクラブが与える地域社会へのインパクトもより大きなものになるでしょう。

2020年6月17日

日本ライオンズ大学校 名誉学長 山田 實 紘
学長 城阪 勝 喜
副学長・委員長 濱野 雅 司